

鎌倉極楽寺・浜田頓坊 - 甘辛都々逸「和のラド」-185

《モノは考えよう ポジチブ・シンキング効果》

◇見舞時 「この部屋 315 (サイゴ) 号だ」

「9 (カブ) です足せば」 「そうか

そうだな アツハツハ」

◇悄は気はてた 先輩すつかり 元は気はになつて

向はもな<退院 「ワツハツハ」

◇何れいつかは 死ぬこと覚悟

本気本音で" 生きる時

◇その昔 「同業取引き 一回だけね」

「ハイ」と言つたら 「二回だろう」

◇なら聴くな 光の後ほ黙秋た"

デカさん困リ 「君には及ばね」

そうだろ (沈黙)

《お上に楯突のてまで展示公開した作品群》

<

◇百年か 柳宗悦 民芸運動

海を渡つて 光る芸

◇韓国や アイヌ・沖縄 日常雑器

民衆工芸 誉める術

◇比喩激励 パラリンピック よくも頑張り

金・銀・銅

◇百日紅(サルズベリ) 真紅の花咲き

実つて焼み ざつと百日 夏の主

◇芥川賞 作人名 「妻鹿」多用 (頁に12)

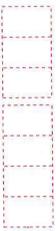
どうも分らん メイサクか

◇カンクーン(メキシコ) 左右から来た

二人の美女 「ホワイ・ホワイ」と言ひながら

とめ





FUJICOLOR POST CARD

お礼？

おの昔 大分県・カンクンシにて

立派な相見品

シカゴ・濱田 エッパッパ

郵便がき

